

| | |
|-------------|--|
| 研 究 テ ー マ | 訪問看護における診療の補助のあり方に関する研究 |
| 研 究 目 的 | 在宅看護において診療の補助行為は発展が遅れていると考えられる理由を探り、在宅医療が促進されるための訪問看護の課題を検討すること |
| 研 究 方 法 | 以下の2つの調査方法を用い、分析、検討を行った 1. 訪問面接調査「訪問看護施設における医療行為の実施方法に関する調査」 2. 質問紙調査「地区医師会における協定書の利用に関する調査」 |
| 結 果 及 び 考 察 | 1. 訪問看護婦が行う医療行為を適切に実施できるため、その促進を阻害する看護課題が、2つの調査結果より、以下の4つの課題が抽出できた 1) 訪問看護サービスにおける医療行為実施に対する考え方 2) 看護婦が医療行為を行うに際して当面している困難 3) これからの訪問看護施設における医療行為の基準の作成について 4) 訪問看護組織における看護の基準(ガイドライン)案の作成 2. 調査結果より、以下の3種類のガイドラインを作成した 1) 経管栄養法を実施している患者のガイドライン 2) 中心静脈栄養法を実施している患者のガイドライン 3) 膀胱留置カテーテルを挿入している患者のガイドライン |
| 研 究 助 成 金 名 | 平成9年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業 |